

インクルーシブな居場所づくりを目指して

あそびのひろば



葵区古庄にあるひかり市民センターの「あそびのひろば」は、平日の日中に赤ちゃんから大人まで自由にゆっくり過ごせる居場所です。

代表の鈴木綾子さんが自身のお子さんの不登校をきっかけに「子どもの居場所づくり」を始め、2019年から活動を開始。現在は4名のメインスタッフで運営し、子ども食堂やその他の活動にはボランティアの協力を得ながら進めています。



取材にうかがった日は、みんなでおにぎりを作つて食べるということで、スタッフの方々を中心においあがつたご飯に思い思いの具を入れながら、楽しげなおしゃべりが続きました。

活動を始めたころは相談相手も少なく、試行錯誤を繰り返しながら進めてきたそうですが、その経験が現在の団体独自の運営方法に繋がっていると言います。

資金は賛助会員や寄付、助成金でまかなっており、活動を通じて子どもたちが積極的にスタッフとコミュニケーションを取り様子を見て、その成果を感じているそうです。

今後は、不登校や障がいのある子どもたちも共に過ごせるよりインクルーシブな居場所づくりを目指していきたい、というのが鈴木さんの願いです。

のびのび過ごせる
居場所づくりの取
り組みが、各地で
広がっていくと良
いですね！ 宮本



ご支援・ご協力をいただいている皆様

【寄付】

株式会社 MPras 様（人材労働派遣会社）

【賛助会員】

駒形八重乃様 子ども食堂の食材の協力など

【子ども食堂支援】

田島純様

